平成30年4月1日

平成30年度 定時総会のご案内

Nayotake

第81号

平成30年度の定時総会を下記の要領で開催いたします。代議員ならびに一般正会員の皆様のご出席を賜わりますよう、宜しくお願い申し上げます。

日時：平成30年5月20日（日）
午前11時開会（10時30分開場）

場所：セルリアンタワー東急ホテル
B2F　ボールルーム
東京都渋谷区桜丘町26-1
（渋谷駅徒歩5分）
TEL：03-3476-3000

議題：1. 平成29年度事業報告の件
2. 平成29年度決算書承認の件
3. 公益目的支出計画実施報告書承認の件
4. 監査報告
5. 平成30年度事業計画（案）及び予算（案）の件
6. 役員改選の件

【総会終了後、懇親会を開催いたします】

会費：会員　10,000円
新入会員　9,000円
（会費は当日会場でも受け付けます。ただし、会費納入済の方、未納の方にかかわらず、5月17日以降キャンセルの場合は会費を頂戴いたします。ご理解ほど何卒宜しくお願い申し上げます。）

＊代議員は、後日お送りする「出欠連絡書」にご記入の上、4月末日までに郵送にてお知らせ下さい。

＊一般正会員で総会及び懇親会にご出席の方は、実践桜会事務室へ4月末日までにお申し込み下さい。尚、一般正会員は総会での議決権はありません。

〒150-0011　東京都渋谷区東1-1-40
TEL：03-3407-7459　FAX：03-3499-0835
E-mail：jissen-sakurakai-jim@forest.ocn.ne.jp

題字・下田歌子先生

実践女子学園所蔵

1.六角松鶴文ボンボニエール　大正13年（1924）5月31日　東宮（昭和天皇）御結婚
2.檜扇形藤桜文ボンボニエール　昭和9年（1934）5月30日　竹田宮恒徳王御結婚披露宴
3.親子亀置物形ボンボニエール　4.六花形菊に匂玉文ボンボニエール　5.六角唐櫃形ボンボニエール
6.文庫形松唐草文ボンボニエール　大正11年（1922）6月　雍仁親王（秩父宮）御成年式御内宴
7.文庫形梅花散文ボンボニエール　大正14年（1925）1月13日　高松宮御成年式か
8.文庫形ボンボニエール　9.文庫形若松文ボンボニエール

餅つきに学ぶ

学校法人実践女子学園
理事長 井原　徹

子供のころの風物詩に、餅つきがあった。あちこちでぺったんぺったんと音がしていた。皆さんは経験があるでしょうか。あるいは見たことがあるでしょうか。両方ともない方は、かなりの都会人か若手だと思います。

餅つきに用意する物は①臼（うす）②杵（きね）③蒸かしたもち米④水（バケツ）です。まずは臼に米を入れます。こね手（こねる役）が米を中心に寄せます。打ち手（杵を打ち下ろす役）が頭上に振りかざした杵を臼の真ん中を目指して思い切り打ち下ろします。こね手は水で手を濡らした後、へこんだ米を寄せて再び真ん中を盛り上げます。打ち手は脇にあるバケツの水に杵の先端を浸けて濡らし、思い切り振り下ろすということを、かなりの回数で繰り返します。一回振り下ろすたびにこね手は素早く臼に手を入れて寄せますが、打ち手にも固有のリズムがあり、どんどん早めに打ち下ろす人の場合は、こねる人はとても危険です。杵が下りてくるときに、手が臼のなかにあったら、手を突かれて骨折してしまいます。

つまり打ち手とこね手の息が合うかどうかが、大変に重要になります。タイミングが合わないと大怪我をします。

私はペアや何人かで協働する時に、メンバー間の「息が合うかどうか」は、とても大切なことだと思っています。ひたすらマイペースで事を進める人とは、どこかで人間関係に破たんが生じてしまいます。マイペースを押し通す人とは、たいていの場合、周りは息が合いません。夫婦でも親子でもそうです。相手の状況やペースに合わせてこちらのペースを創ることは高度な適応力を求められます。相手の立場に立ってペースを合わせてやれる人は素晴らしいと思います。ことの是非ではなく二人三脚できるかどうかです。

餅つきのタイミングは、打ち手が主導する場合が多いのですが、こね手の手さばきの能力によって、打ち手はタイミングを見図らなければなりません。こね手がタイミングを主導する場面もあります。そろそろ疲れてきたなと思ったら、こねる時に出す「はいっ」「はいっ」という掛け声のタイミングを意識的に遅くしてやるのが、パートナーとしての思いやりです。

餅つき同様に、家庭での夫婦や親子の間柄でも、相手の状況に応じたペース配分をするということは大切であり、それは「思いやり」の精神ですね。

（いはら　とおる）

桜会の120周年に向けて

一般社団法人教育文化振興実践桜会
理事長 鈴掛まゆみ

実践桜会は、学園に続き2021年に120周年を迎えます。本年もまた、新入会員を迎え若い力でつないでいく大きな力となりました。そして、桜会役員改選の年に当たります。来る5月20日（日）の定時総会にて承認される新理事と共に、これから1期2年間、新しいメンバーで実践桜会はスタートします。会員のみなさま、科会のみなさま、支部のみなさまのこれまで以上のご協力とご支援をよろしくお願い致します。

私も理事長に就任して2年が終わろうとしております。ふり返ってみますと、1年目は目前の内外の諸行事、諸問題をこなすことが精一杯でした。2年目は、少しずついろいろ目を向けられるようになり、気付かされる事も多くなりました。

以前に理事をしていた時の経験から、就任当初より実践ならではの全国に広がる各支部との交流の必要性を感じていました。おりしも、学園と大学後援会による地区懇談会が終了し、代議員制の導入により定時総会に集う支部会員のありようにも少し変化が見られました。そのような中、機会があり昨年11月末に北陸3支部（石川・富山・福井）との懇談会を金沢にて開催し、直接支部会員のみなさまの“お声”を聞くことができました。常任理事・理事が出向いて本部のこと、学園のことを報告することの大切さを実感しました。会員のみなさまが母校の思い出を生き生きと、又、誇らしげにおはなしして下さる姿には感動しました。仕事よりこの会を優先した方もいらして“実践で学んで良かった”“実践ファースト”のお気持ちをしみじみと感じ取りました。今後も協力団体である支部と積極的に交流し、お互いの直接の声を届けあいたいと考えています。

もう一つ、今年度は諸規程を理事会で見直し、整理・検討する予定でおります。

来年2019年（平成31年）5月7日に、実践女子学園は創立120周年を迎えます。学園主催の記念式典は同年5月7日（火）に下田歌子先生の生誕地岩村に於いて執り行われます。続く5月11日（土）には、渋谷にて祝賀会が開催されます。祝賀会には多くの同窓生が集い、共にお祝いいたしましょう。

なお、実践桜会では留学生と実践女子学園学生対象に「国際交流基金奨学金」と「実践桜会奨学金」を設けております。本年も奨学生の募集を実践桜会のHPにて行っております。

（すずかけ　まゆみ）

学園創立120周年に向けて

実践女子大学・実践女子短期大学部
学長 城島 栄一郎

実践女子大学および実践女子大学短期大学部は2019年5月に学園創立120周年を迎えます。長い歴史の中で本学は女子教育の面で社会に大きな貢献をしてきており、歴史ある伝統校として社会的に高い評価を受けています。また、文学部、人間社会学部と短期大学部が渋谷キャンパスに都心回帰し、日野キャンパスもリニューアルしました。その結果、大学と短期大学部ともに安定した志願者数と入学者数を確保してきています。しかしながら、最近の入試状況を詳細に見ると偏差値の低下傾向や2018年から18歳人口の一段の減少期をむかえることなどから、必ずしも楽観できる状況ではありません。

現在のような順調なときにブランド力を引き上げ定着させることによって、本学の伝統を未来へ引き継ぎ、永続的な発展につなげることが必要であると考えます。

本学の今後数年間をみると、2019年に創立120周年を迎え、記念事業として学園全体の数々のイベントを計画しています。また、翌2020年には56年ぶりに東京オリンピック・パラリンピックが開催され、これに積極的に参画します。

オリンピック開催によって国内に加えて海外からの観光客の大幅増が予想され、メイン会場に最も近い女子大学の一つである本学は国内外の旅行客、とりわけ世界中からの訪日外国人と接触する機会が激増すると思われます。語学力、コミュニケーション力を身につける動機付けとして最適の機会と捉え、本学の学生がオリンピック・パラリンピックのボランティアスタッフなどを通じて社会貢献できる能力を付与するプログラムの開発を計画しています。

このように、オリンピックまでの期間は、グローバル化社会で活躍できる学生を育成し、東京オリンピック・パラリンピックに積極的に参画し、社会に貢献することによって、大学・短大と学園のブランド力を一気に引き上げ、将来にわたって発展する土台作りの重要な期間と考えます。

また、120周年の行事、オリンピック・パラリンピックには本学園の中高生、大学・短大生、卒業生、教職員が一致団結して取り組む必要があります。中高・大学・短大・同窓生が一堂に会して連携・協力関係と一体感をもちながら、学園としての建学の精神と教育理念を共有する必要があります。逆に言えば、これまであまり強固とは言えなかった学園全体の連帯感を醸成する絶好の機会といえます。

最後に同窓会の一層の発展と同窓生のさらなるご活躍を祈念します。

（じょうじま　えいいちろう）

魅力ある豊かな教育活動を目指して

実践女子学園中学校 高等学校
校長 髙橋基之

今年は明治150年と言われています。そして、いよいよ来年に本学園は創立120周年を迎えることとなりました。学園のさらなる飛躍に向けて、グローバル教育の伝統ある先進校として、卒業後の生徒の姿を、「主体的に行動し創造することができる女性」、「コミュニケーション能力に優れ自ら発信することができる女性」、「身近な視点からグローバルな問題をとらえることができる女性」、「社会に貢献しリーダーシップを発揮できる女性」、「人を思いやるやさしさと感謝の心を持ち共生できる女性」とした「５つの女性像」として、生徒一人ひとりが成長を実感する豊かな教育活動を展開しているところです。

明治維新を経て、新たな日本を築いていくため、その新時代に生きる日本女性としての教養と自覚を高め、生活改善を図るという目的を実現する一歩として、明治32年（1899年）に下田歌子先生は実践女学校及び女子工芸学校を設立されました。学業はもとより、世界を見据えた伝統ある女子教育の実践は、視野を広くもちながら、地に足をつけた学力と教養に裏打ちされた実践力の育成です。これからの時代、何が求められているのか、新しいものづくり、新しいサービスの創造には、人々がお互いに得意なところを出し合って、課題を共有してチームで協力して取り組んでいくことが求められています。そこで今後のグローバル社会にあっては培った「探究力」により、一人ひとりがもつそれぞれの違った良さと経験を活かして、ともに協力して活躍することです。そのためにも友人を尊重し学校行事や委員会活動に関わって、人のために貢献する意識を高める生徒会活動や行事の実践はとても大切なものです。生徒には行事も、ただこなすということではなく、各行事や委員会の成立、背景を知り、考証的な観点から学習と連携し、課題をしっかり見据えて進めていくことが大切と呼びかけてきました。

これからも、正に実践、高い志をもって、教養と自覚を高め、そのためにもさらに本物に触れ、人の思いに迫り、日常に置き換えて考え、発言、行動していくことを願っています。大きく変化する社会の中で、益々女性の活躍が望まれています。

生徒の成長のためのこれまでの実践桜会の皆様の教育活動に対するご理解とご支援に心から感謝しております。今後も、益々会が発展されますことをお祈りしております。

（たかはし　もとゆき）

実践桜会平成30年度年間行事予定表

□日は未定

年月	本部	支部
H30 4月	1日「那与竹」第81号発行 □日 入学記念品贈呈(院・大・短・中) □日 実践桜会奨学生(学園)募集 11日 法律相談 14日・28日 結婚相談	初旬 神奈川支部 役員会 初旬 千葉支部 千葉支部松戸・鎌ヶ谷ネット　親睦会 上旬 札幌支部 役員会(総会準備) □日 千葉支部 千葉支部会報「ミルフィーユ」42号発行 中旬 山梨支部 役員会(事業計画検討) 中旬 茨城支部 第1回役員会 21日 福島県支部 第1回役員会(総会準備・総会と講演会の案内発送) 下旬 埼玉支部 役員会(講習会「楽しい絵手紙教室」の反省会・会計監査) 於：浦和コミュニティセンター □日 関西支部 新年度挨拶文送付
5月	1日 実践桜会奨学生(大学)募集締切り 1日 国際交流基金奨学生募集締切り 上旬 実践桜会奨学生(大学)選考委員会(書類選考) 9日 法律相談 12日・26日 結婚相談 20日 定時総会(於：セルリアンタワー東急ホテル) 母校への助成金贈呈	□日 千葉支部 いすみ・茂原ネット　養老渓谷の散策 上旬 札幌支部 役員会(総会案内発送) □日 千葉支部 佐倉・八千代・四街道・酒々井・ネット　お花見会 下旬 埼玉支部 役員会(第22回総会資料作成、講演会案内の発送)　於：浦和コミュニティセンター
6月	3日 実践桜会奨学生(大学)選考委員会(面接選考) 4日 国際交流基金奨学生選考委員会(書類選考) 9日・23日 結婚相談 13日 法律相談 16日 実践キャリアネット総会・懇親会(於：渋谷) 24日 国際交流基金奨学生選考委員会(面接選考) 下旬 実践桜会奨学生(学園)候補者面接 実践キャリアネット「卒業生の為の仕事についての何でも相談会」は随時受け付けております。詳しくはホームページをご覧ください。 	10日 札幌支部 総会・親睦会(於：京王プラザホテル札幌) 上旬 関西支部 渡辺美佐子さん朗読会・懇談会(於：京都　長楽館) 中旬 山形支部 総会・懇親会(於：鶴岡) 中旬 島根支部 総会 中旬 茨城支部 第2回役員会(総会準備) 23日 福島県支部 第2回役員会(総会準備・総会当日の役割分担確認) 23日 埼玉支部 第22回総会・講演会・懇親会　於：埼玉会館2階ラウンジ(ヒマワリ) 講師：翻訳家　山口　晃氏　演題「よみがえる日々の生活と日記」 24日 千葉支部 千葉支部15周年総会・講演会(於：京成ホテルミラマーレ) 24日 沖縄支部 第26回総会(於：那覇セントラルホテル) 下旬 茨城支部 総会・講演会 下旬 福岡支部 役員会(総会・研修会打合せ) □日 長野支部 役員会(支部役員と3つのブロック役員) 下旬 福井支部 総会・懇親会 下旬 山梨支部 ラベンダー収穫・小物作り 30日 福島県支部 総会・講演会　講師：朝河貫一博士研究会理事　学術博士　山内晴子氏 (於：花の祥) 末日 鳥取支部 役員会(総会・視察研修について打合せ) □日 千葉支部 柏プラスネット　昼食会
7月	上旬 実践桜会奨学生(大学)説明会 上旬 国際交流基金奨学生説明会 11日 法律相談 14日・28日 結婚相談 20日 社会活動助成金申請締切り	初旬 神奈川支部 総会 7日 宮城県支部 総会 14日 福島県支部 第3回役員会(総会反省・総会欠席者「25年のあゆみ」と総会要項発送) 中旬 埼玉支部 役員会(総会の反省、会員への総会資料発送など) 下旬 札幌支部 役員会(総会資料送付・講演会準備)
8月	9日～17日 実践桜会会館夏季休館 25日 結婚相談	中旬 栃木県支部 総会案内発送 □日 千葉支部 千葉支部会報誌「ミルフィーユ」43号発行 下旬 山梨支部 役員会(総会打合せ)
9月	8日・22日 結婚相談 12日 法律相談 15日 実践キャリアネット「秋の会員交流会」 29日 秋季運営委員会(於　実践桜会会館) 29日 第1回実践桜会奨学生交流会	初旬 埼玉支部 役員会(見学研修会準備・後期事業打合せ) 上旬 札幌支部 講演会 下旬 札幌支部 役員会(講演会の反省) 下旬 千葉支部 千葉支部ミニ同窓会 下旬 山梨支部 総会・研修会・懇親会 末日 鳥取支部 視察研修(下関・北九州方面の予定)
10月	1日「なよたけ情報版」第24号発行 6日 学祖祭(護国寺参拝・実践桜会会館祭壇設置) 10日 法律相談 13日・14日 常磐祭(渋谷キャンパス)常磐祭協賛金贈呈・実践桜会賞授与 13日・20日 結婚相談 27日・28日 実践桜会バザー開催、中高「ときわ祭」に参加	初旬 埼玉支部 彩の国めぐり見学研修会(予定)「平家物語の史跡を訪ねて」 本庄駅集合 7日 長野支部 総会(南信ブロックにて開催) 上旬 栃木県支部 総会・学校及び美術館見学(於：セルリアンタワー) 上旬 関西支部 役員会(総会・親睦会・講演会打合せ) 24日 関西支部 総会・講演会(於：京都　ホテルグランヴィア京都) □日 岡山支部 支部会開催 □日 函館支部 懇親会 □日 千葉支部 君津・木更津・袖ヶ浦ネット　マザー牧場 □日 千葉支部 佐倉・八千代・四街道・酒々井ネット　親睦会 □日 千葉支部 松戸・鎌ヶ谷ネット　お楽しみ会 □日 千葉支部 匝瑳ネット　ランチ懇親会 □日 千葉支部 NIFUネット　ランチ会

□日は未定

年月	本部	支部
11月	3日・4日 常磐祭(日野キャンパス)常磐祭協賛金贈呈・実践桜会賞授与 10日・24日 結婚相談 14日 法律相談 17日 実践キャリアネット第1回セミナー	1日 熊本支部 総会 4日 愛媛支部 総会(於：松山市) □日 千葉支部 ちばネット　もみじ狩り 初旬 埼玉支部 役員会(彩の国めぐり研修会反省、写真発送) 下旬 栃木県支部 忘年会
12月	8日 結婚相談 12日 法律相談 27日～1月5日 実践桜会会館冬季休館	上旬 関西支部 役員・幹事・地区委員合同委員会(於：しずくホテルグランビア) 上旬 福岡支部 総会・研修会
H31 1月	9日 法律相談 12日・26日 結婚相談 13日 初春歌舞伎観劇会(於：国立劇場大劇場) 14日 祝・成人の会 19日 実践キャリアネット第2回セミナー＆新年会	中旬 島根支部 社会活動講演会 下旬 札幌支部 役員会(次年度の打合せ) 下旬 埼玉支部 新年会(第23回総会開催等打合せ) 下旬 山梨支部 研修会・懇親会
2月	9日・23日 結婚相談 13日 法律相談 □日 実践キャリアネット「卒業生と在校生の交流会～OG懇談会～」(於：日野・渋谷)	
3月	2日 第2回実践桜会奨学生交流会 9日・23日 結婚相談 13日 法律相談 □日 卒業記念品贈呈(院・大・短・高)	2日 福島県支部 事業計画の反省・決算報告・会計監査 中旬 茨城支部 第3回役員会 中旬 札幌支部 役員会(総会準備) 下旬 埼玉支部 実技講習会(楽しい絵手紙教室)

学園だより

1. 実践女子大学香雪記念資料館 平成30年度企画展　年間スケジュール

・第18回　学祖・下田歌子展　下田歌子と体育
　平成30年4月5日(木)～27日(金)
・近代日本の美術史研究の足跡を追う(仮)
　平成30年5月12日(土)～6月16日(土)
・第3回　新収蔵品展　中国美術史入門展Ⅰ期(仮)
　平成30年7月2日(月)～8月5日(日)
・野口小蘋　―　女性南画家の近代　―
　平成30年10月8日(月)～12月1日(土)
・中国美術史入門展Ⅱ期(仮)
　平成31年1月7日(月)～1月31日(木)

※展覧会名、会期は変更になる場合がございます。また展覧会によって休館日、開館時間が異なります。詳細についてはホームページ等でご確認ください。

2. 実践女子大学・実践女子短期大学部「ホームカミングデー ～卒業生のつどい～」

平成30年10月14日(日)、卒業生の皆様を母校に迎える「ホームカミングデー～卒業生のつどい～」を渋谷キャンパスで開催いたします。

常磐祭と同時開催となりますので、この機会に足をお運びいただければ幸いです。皆様のご参加をお待ちいたしております。

※詳細は、決まり次第ホームページにてお知らせいたします。

3. 実践女子大学・実践女子大学短期大学部公開市民講座(予定)

平成30年度は次の講座を予定しています。

【国文学科】
　京都をめぐる文学
【英文学科】
　オリンピックと異文化交流　―　人種・ジェンダー・身体の表象
【食生活科学科】
　食生活を科学する　加工食品の温故知新
【生活環境学科】
　街の魅力とは何か　事例にみるこれからの街の在り方
【生活文化学科】
　安心できる子どもの暮らし
　―　これからの児童教育を考える　―
【現代生活学科】
　今、若者は'地域'に何を感じるのか　多世代をつなぐこれからの地域づくりのために
【人間社会学部】
　開発途上国におけるパートナーシップの国際協力
【日本語コミュニケーション学科】
　香道を満喫する

※日時等詳細は決定次第、本学ホームページにて案内します。

学園行事予定表

年月	学園
H30 4月	4日　入学式(大学・短期大学部・渋谷)
	5日　入学式(大学・日野)
	7日　入学式(中高)
5月	7日　学園創立記念日
	20日　オープンキャンパス(渋谷)
6月	17日　オープンキャンパス(日野)
7月	15日　オープンキャンパス(渋谷)
	29日　オープンキャンパス(日野)
8月	5日　オープンキャンパス(渋谷)
	19日　オープンキャンパス(日野・渋谷)
9月	16日　オープンキャンパス(日野)

年月	学園
10月	6日　護国寺墓参
	13日　常磐祭(渋谷)
	14日　常磐祭(渋谷)
	ホームカミングデー(渋谷)
	21日　オープンキャンパス(渋谷)
	27・28日　ときわ祭(中高)
11月	3・4日　常磐祭(日野)
H31 3月	3日　高校卒業式
	19日　中学卒業式
	20日　卒業式(大学・日野)
	21日　卒業式(大学・短期大学部・渋谷)
	24日　オープンキャンパス(渋谷)

特別寄稿

下田歌子顕彰碑周辺清掃の歴史と岩邑うた子会について

実践女子大学下田歌子研究所客員研究員　愛甲晴美
（昭和59年／実践女子大学文学部国文学科卒）

実践女子学園創設者下田歌子先生の生誕地岐阜県恵那市岩村町では、下田先生の顕彰碑や墓地周辺の清掃活動が長年にわたって続けられています。この活動は旧岩村町婦人会から岩邑うた子会に引き継がれ、80年以上続けられてきました。岩村町婦人会から岩邑うた子会にいたる清掃活動の歴史は、下田歌子研究所「ニューズレター」No.7～9に報告しましたが、今回はその概要と現在の岩邑うた子会についてご紹介します。

岩村町婦人会は明治39年に岩村町教育会婦人部会の名称で発足しました。設立当初は小学校長が会長に就任しましたが、大正10年に岩村町婦人会となり、同13年からは会員から会長を選出する自主的な運営組織に変わりました。同婦人会は町内各戸の既婚女性が所属する大規模な地域団体です。

下田先生との関わりが確認出来るのは、先生が第5代愛国婦人会長に就任した翌年の大正10年に岩村を訪問した際、岩村町婦人会で講演を行ったという記録です。時代の変遷に伴う女子、女子としての社会奉仕、生活改善、冗費・時間・労力の節約といった内容で、おそらく会員にも大きな影響を与えたことと思われます。

その後、同婦人会では昭和3年から10ヶ年計画で下田先生の事蹟を永久に残すための事業資金の積立を行うことになりました。資金集めの方法として、会員が自分たちの髪の毛を集めて売ることにし、その髪の毛集めは40回以上にのぼりました。女性にとって大切な髪の毛を資金としたことは、この事業への特別な思い入れが感じられます。

当初の計画より早く昭和10年に、先生の生誕地に顕彰碑が建てられることになり、それに合わせて、同婦人会でも顕彰碑の敷地の入口に石造の示標を建立することになりました。すでに積立金は160円63銭（昭和12年公務員の初任給は75円）あり、そのうちの約80円で示標を設置しました。同年8月8日の先生の誕生日（戸籍上は8月9日）に除幕式が行われ、下田先生も出席しました。現在でも岩村町婦人会の名称が刻まれた示標が顕彰碑の前に立っています（図1）。

顕彰碑建立の翌年の昭和11年3月から、同婦人会はその周辺の清掃を毎月行う事を決めました（図2）。先生はこの年の10月に82歳で逝去され、東京の護国寺に埋葬され、岩村の乗政寺山藩主墓地の、生家である平尾家の墓所にも分骨埋葬されました。その後昭和13年の三回忌には下田先生と夫の下田猛雄氏の墓所が完成しました。

下田歌子先生顕彰碑（左奥）と岩村町婦人会建立の示標（図1-1）

示標裏（図1-2）

顕彰碑周辺清掃活動始まりの頃の様子（昭和11年5月5日撮影）岩邑うた子会蔵（図2）

岩邑うた子会の清掃活動の様子（平成27年撮影）（図3）

岩邑うた子会（柊会）の皆さん（図4）

顕彰碑周辺の清掃はその後戦時中に一時中断したものの、戦後まもなく再開し、同婦人会は会員数の推移があっても、班にわけて冬期を除く月ごとに行う形で平成16年の市町村合併による会の解散まで継続しました。そこには、郷土出身で女性の教育に多大な功績を残した下田先生に対する岩村の女性の敬慕の念と誇りに思う気持ちが脈々と受け継がれていることが感じられます。

同婦人会解散後この思いは、最後の役員11人を発起人として墓所と顕彰碑清掃を活動の柱とする、有志による「岩邑うた子会」へと引き継がれました。同会は平成18年に発足し、平成27年度までは約70名の会員が6班に別れて4月から11月を月ごとに当番制で草刈りから片付けまですべての作業を行っていました。

しかし、現状では地域の過疎化もあって若い世代の入会が見込めず、会員の高齢化が進み、清掃作業が年々難しくなっています。平成28年度からは、最も大変な草刈り機による作業をシルバー人材派遣に委嘱することで活動の継続を図ってきましたが、今後は清掃活動すべてを委嘱することも含めて、同会の活動目的を改めて考え直す時期を迎えています（図3）。

同会ではこれまでも、清掃活動だけでなく、下田先生の教えを学ぶ講演会やゆかりの地を訪れる研修などを行ってきました。本学園の日野、渋谷校舎の見学ツアーも実施され親睦も深まり、また本学園の関係者、生徒、学生や同窓会が岩村を訪れる際には同会の皆さんが心のこもったおもてなしをしてくださっています。

先日岩村を訪れ、岩邑うた子会発起人11人でつくる柊会の皆さんにお話を伺いました。岩村町婦人会最後の会長で、現在まで岩邑うた子会の会長も務める渡会直子さんは、今後の活動目的を、下田先生の教えを会員が学ぶだけでなく、地方の方々や岩村を訪れる観光客などにも向けて、下田先生を知ってもらうための拠点づくりへ広げたいという希望を語られました（図4）。本学園も連携を深め、岩村との絆を大切にしていかれることを願っています。そして、同窓生の皆さんにも是非岩村を訪れていただきたいと思います。

現在実践女子学園からは毎年岩村へ墓参に訪れ、また学生の夏期セミナー「がくたび」や中学生の「自然体験教室」など定期的に岩村との交流が図られています。下田歌子研究所も学園、大学の交流事業への協力や岩村での研究会・研修会等で連携を図っています。平成27年には実践桜会主催の「実践桜会全国交流ツアー－学祖下田歌子の故郷岩村への旅－」で100名ほどの同窓生の方々が墓参に訪れましたが、これからも同窓生と岩村とをつなぐ企画が実現することを願っています。

（あいこう　はるみ）

［プロフィール］
昭和59年3月実践女子大学文学部国文学科卒業。
平成19年9月より福生市立中央図書館嘱託員現在に至る。
平成26年4月より実践女子学園下田歌子研究所非常勤研究員（実践女子大学付置に変更、平成29年4月より客員研究員）現在に至る。

輝く人

日本刺繍と共に ～50年の歩み～

日本刺繍作家 田代　泉
（昭和44年／実践女子大学家政学部被服学科卒）

実践中高の古い校舎の片スミの通称「洗濯室」・・・工芸班の活動教室の戸棚の引き出しの奥から出てきた1本の絹釜糸の管。その透明で鮮やかな紫の糸。私の日本刺繍に対する憧れが生まれた一瞬でした。

洋裁を仕事としていた母、刺繍作品で家の中を飾りたてていた叔母、8人の孫に毎年セーターを編む祖母の中で子供時代を過ごした私は、針と糸と布が身近にあふれる環境で育ち、小遣いをもらうとフランス刺繍糸を買い集めたものでした。

実践女子中学校に入学した時、3年生にならなくては工芸班に入れないと知りがっかりしたのを覚えています。工芸班は、クロス・ステッチ、フランス刺繍、スウェーデン刺繍等易しいものからドロンワーク、バテンレース、等々針を使って編む難しい技術のものまで。又、レース編み、クンストストリッケン等編物、紙染め、皮染めなど染色、ぬいぐるみまで入部1年目から4年目まで網羅されていました。そして顧問の先生は班活動に直接には出てこられず、上級生が下級生に教えるという活動形態でした。一人で黙々と刺繍をしていた私が、高校3年で部長として百人近い入部希望者を（ベビーブームの時代だった）前にした時の緊張はピークでした。説明を終えた時、ドアの外で聞いて下さっていた顧問の樋口冨枝先生は私の一番目の恩師でした。

実際には、私が作ったことも無い分野は、昼休みなどに樋口先生に教えを請い、材料店を浅草橋などに探し、材料を揃え、翌週には下級生と一緒に取り組むという経験は“家庭科教師になりたい”という志を私に持たせました。そして4年目の最後に記してあった日本刺繍を憧れの絹釜糸を使って刺繍したのでした。

又、この工芸班として上野東京都美術館で開催されていた”全国手工芸美術展覧会”の見学は、目をみはるものでした。学校教育における手工芸作品の展示は、同じ高校生でなぜ屏風等大作ができるのかと、くやしいどころか不思議に思ったものでした。小学校の部から大学の部までそれぞれ素晴らしい作品が、出品されていました。私の生涯のサイドワークとして、この手工芸展の開催を手伝っています。

憧れでなく“道”としての日本刺繍に廻り合ったのは被服学科2年の春でした。教室案内の地図を手に飛び

銀座での作品展

チューリップ唐草

アジサイ-緑陰-

講座風景－配色指導－

銀座での展覧会風景

込んだ丹羽正明先生の元で、台張り3年、糸撚り3年とか言われながら基礎繍からしっかり技術の習得を目指したのでした。その後、丹羽先生が手工芸展の審査委員長であり、樋口先生も丹羽先生を師としていて驚いたものです。

一方、大学では教職課程はもちろん、繍−ヌイ−の歴史。飛鳥時代の日本最古の「天寿国繍張」から奈良・鎌倉時代の「繍仏」の刺繍。桃山時代の「能衣装」、桃山・江戸から現代に至る「小袖」の文様表現法としての繍。経済や社会情勢などの影響を受けながら連綿と続いている繍の歴史を卒業論文として細井起能先生の指導を受けました。実際に小袖に使われた技法を実技見本として作製し、現代に使われる訪問着に刺繍をしました。

卒業後、教育畑で働いて参りましたが、始めの高校家庭科教諭としての3年間は、私にとってカルチャーショックでした。ソニー学園は当時、Sony工場の内にあった二部制の定時制高等学校でした。中学卒業後親元を離れ、寮生活をしながら、働きながら学ぶ4年間、ここでの朝8時から夜10時過ぎまでの勤務は肉体的にハードな事のみでは無く、学校改革の熱の中で、発想の転換を迫られるものでした。担任も持ち、手芸クラブの顧問をし、学校活動の中で様々な仕事、夏休み中1週間学校を離れ、山の中でテント生活をし、話し合う。家庭科教師として、この1週間の食糧調達まで、のべ80人分、先発隊としてトイレ・水道の造営など、エッ1年目なのに任されていいの？という、実践色が剥ぎ落とされた3年間でした。様々に目を開かせてくれました。“しかし　刺繍ができない”ことは苦しく退職。ソニーの生徒達も65歳になりますが、いまだにクラス会がオリンピック年に続いています。

その後カルチャーでの日本刺繍講座が始まり、並行して手工芸展でご一緒に活動した先生方から請われ昭和女子短期大学非常勤講師、実践でも短期大学非常勤、又70才目前までできもの専門学校で日本刺繍を教えていました。

さて、教師と並行して“日本刺繍作家”としての作品造りも続けて参りました。自分でスケッチし、デザインした作品を創りたい。その希望が現実になったのは、故東京芸術大学名誉教授吉田左源二先生との出合いでした。装飾デザインを形成し、刺繍の技法上の制約から解き放って下さった師です。今では、布や糸を染色し、型染めを加え、繍法を使い分け、糸の太さ、撚りの辛甘など自在に、時には繊糸を使用するなどデザインに併せて自由に使い分けています。

現代の生活の中に活きる日本刺繍の作品を創っていきたい。古典的文様でも新しい切り口でモダンな作品に。着物だけでは無く、生活の中に活きる作品をこれからも創っていきたい。又教える立場では基礎をしっかりと、そして自分らしい応用をと、考えています。

昨年6月、日本刺繍を始めて50年を節目として、銀座で2回目の個展を開きました。同窓の皆様、教え子達、又同じ日本刺繍を教える立場の方など多数ご来場いただきました。70才ともなると、大きな作品は台張りなど体力勝負なところもありますが、続けている手工芸展開催の仕事と共に、出品する新作の刺繍に励んでいる今日今頃です。

（たしろ いずみ）

［プロフィール］
実践女子大学家政学部被服学科昭和44年度卒
日本刺繍作家丹羽正明氏に日本刺繍を師事
東京藝術大学名誉教授故吉田左源二氏に装飾デザインを師事

昭和女子短期大学講師
実践女子短期大学講師
織田きもの専門学校講師
現　日本手工芸指導協会師範、監事
現　よみうり日本テレビ文化センター大森「日本刺繍」講座講師

第32回　手工芸美術展覧会「通商産業大臣賞」受賞
第42回　手工芸美術展覧会「日本手工芸文化協会会員賞」受賞
日本手工芸指導協会作品展「内閣総理大臣賞」受賞
シルク美術館「第13回　染織作品展」2点入選
他、個展、グループ展多数

地域交流レポート

北陸3支部懇談会
北陸新幹線の開通から3年
グーンと距離の縮まった金沢に伺いました。

石川支部
- ●支部長 紙谷 玲子（昭和42年／短大被卒）
- ●日野 比佐子（昭和39年／大国卒）
- ●田中 他佳子（昭和47年／大被卒）
- ●城田 令子（昭和24年／専国卒）
- ●中村 三恵（昭和48年／大英卒）
- ●猪村 みどり（昭和61年／大食卒）

富山支部
- ●支部長 山本 順子（昭和33年／短大被卒）
- ●羽根 静可（昭和32年／短大被卒）
- ●松井 英子（昭和36年／短大国卒）
- ●奥川 孝子（昭和44年／大英卒）
- ●八嶋 幸子（昭和31年／短大生卒）
- ●藤井 とし子（昭和33年／短大被卒）
- ●増山 美和子（昭和39年／大食卒）
- ●堀井 光子（昭和45年／短大生卒）

福井支部
- ●支部長 谷 洋子（昭和42年／大食卒）
- ●小林 幸子（昭和49年／大被卒）
- ●垣内 春代（昭和49年／大国卒）
- ●佐藤 真実（平成6年／大食管卒）

平成29年11月26日（日）金沢市で石川・富山・福井3県の皆様との3支部合同懇談会が開催されました。会場の「金沢茶屋」に石川支部6名、富山支部8名、福井支部4名、実践桜会本部7名の計25名が集いました。

理事長から開催の挨拶の後、代議員決定について、元桜同窓会理事長戸野原須賀子様を偲ぶ会、役員改選に向けての準備等の報告があり、続いて総務部・財務部・事業部・文化部・広報部各常任理事から活動報告が行われました。

落ち着いた雰囲気のお席で治部煮などの金沢料理に舌鼓を打ちながら暫し歓談、席の近い人たちが世代を超えて実践での学生生活の思い出を語り合い和やかな一時となりました。宴の後半には3支部の皆様から一言ずつ支部活動や学生時代のお話、ご自身の日常などを語って頂きました。

石川支部からは支部長**紙谷様**（S42年卒）が、会員の方々の年齢が上がるにつれて会としての寄り添い方に悩まれているとのお話をされました。「石川に支部を作りなさい」と千葉支部を立ち上げた同期の方に声を掛けられた**田中様**（S47年卒）からは、紙谷様と共に発起人となられた当時の盛り上がりを思い出してもう一度活動を活発化したいとのご発言があり嬉しく伺いました。**城田様**（S24年卒）は実践近くのご親戚宅に下宿をされていて、戦後がまだ残存する渋谷の街の姿や配給の品をご近所に分けたりといった貴重なお話が伺えました。**日野様**（S39年卒）は学生寮に入るのも大変な状況で、民家を借上げた中根寮分室「駒田寮」に入られました。折しも天皇陛下がご成婚なさり常磐松の仮御所に住まわれ、更に皇太子様ご誕生でキャンパスからは鯉のぼりが見られたそうです。そのお話を聞いて驚いた**猪村様**（S61年卒）は3人の子育てが一段落した折、今回の懇談会の案内が届き「私も大学にいっとんたんや～」と懐かしい思いで参加して下さいました。理事長と同期の**中村様**（S48年卒）は金沢文学館のボランティアや着付けの活動のお話をされました。

富山支部の支部長**山本様**（S33年卒）も世代交代によって支部活動の活性化を進めたいとご発言されました。**松井様**（S36年卒）は日野様のお話にも出た自由が丘にあった「中根寮」（委託寮）に実践の学生20名と共に生活されました。掃除当番で寮母さんからトイレ掃除のやり直しをさせられたり、門限のある生活で社会の厳しさ、楽しさを沢山経験されたそうです。**羽根様**（S32年卒）も同じように社会に触れた4年間だったと語られました。**奥川様**（S44年卒）は日野寮の1期生、当時の英文科は実践の高校からの進学組が圧倒的に多く地方からの学生は何となく居心地の悪い思いがあったそうです。その中で寮生活は全国から学生が集う心休まる場所だったとの事、当時の寮生の方々とは今も交流を続けておられます。繋がりといえば、**堀井様**（S45年卒）も学科の方々と交流を持ち続けておられます。**藤井様**（S33年卒）はお嬢様も実践をご卒業され管理栄養士の道を進まれており同窓の広がりを感じました。**八嶋様**（S31年卒）は長年茶道を続けられ那与竹にも記事を寄せて頂くなど幅広く活動をされています。**増山様**（S39年卒）はこの懇談会で思いもよらぬ再会が。なんと福井支部の谷様と同時期に在学し、部活動もご一緒だったのです。

その福井支部長の**谷様**（S42年卒）は実践の繋がりを地元に広げたいと考えて、実践で副手をしておられた**佐藤様**（H6年卒）を福井の学校に招聘されました。ご主人のお仕事もこちらという事で佐藤様はご家族で福井市民になられています。**垣内様**（S49年卒）は同期生の島根支部長大谷様からお誘いがあり総会に出席して交流が再開しました。また、**小林様**（S49年卒）も昨年大学のクラス会がありお付き合いが広がっています。

仕事や子育てが一段落した事で同窓生との旧交を温める方のお話が伺え、桜会としても皆様の一助になりたいと考えております。それと同時に支部長をはじめ会員の方々の支部活動のご苦労を改めて強く感じております。今回、近隣3県の支部の皆様が一堂に会されたことで、交流がより一層深まり支部活動の活性化が進むことを切に願っております。

皆様にとって懐かしい渋谷は2020年の東京オリンピックに向けて街中が変化を遂げようとしております。実践の渋谷キャンパスの様変わりをテレビでご覧になって驚かれたというお話も出ましたが、渋谷の顔であった東横線は地下に潜り、プラネタリウムのあった東急文化会館はヒカリエに姿を変え、東急プラザは高層ビルに生まれ変わりつつあります。

時代や校舎は移り変わっても、実践の同窓という時の流れの中で過ごした繋がりはいつでも心温まる時間を与えてくれます。その得難い時間を多くの世代の同窓生の皆様にも共有して頂けるように、桜会も支部の皆様と共に一層の努力を続けてまいります。

お集まりいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

本部常任理事挨拶

理事長挨拶

会員の各人からのお話

会場風景

紙谷さん

城田さん

日野さん

中村さん

田中さん

猪村さん

山本さん

八嶋さん

羽根さん

藤井さん

松井さん

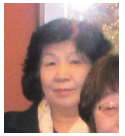
増山さん

奥川さん

堀井さん

谷さん

垣内さん


小林さん

佐藤さん

科会だより 活動方針と行事予定

詳しくは実践桜会
ホームページをご参照ください。

科会の行事には、科を超えてどなたでも参加できます。生涯学習の場としても是非ご活用ください。皆様のご参加をお待ちしております。

実践ときわ会

実践ときわ会が協賛する1月8日の「祝・成人の会」は、今年で6回目を迎え、出席率は90％以上でした。今年度は、中高の小野先生のご指導で、主催者側としては讃嘆の一語に尽きるような会でした。

新成人の卒業生の方たちが近い将来、私達の仲間になられることを心待ちにしております。

今期の行事予定

■6月10日（日曜日）総会　於：桜会会館
　総会後、三遊亭道楽師匠による落語口演会
■6月14日（木曜日）午後1時～3時半
　渡辺美佐子さんの朗読会　於：桜会会館
　向田邦子作品の朗読。会費　1,000円
■初風緑さんの「Enjoy!わくわくLife!!」
　4月12日（木）・5月10日（木）・6月7日（木）
　毎回13時～14時半
　桜会会館103号　会費：1回1,000円
　歌あり、ダンスあり、ストレッチあり、お話ありの何でもありの会。誰でも遊び感覚で参加出来る楽しい会です。

ときわ会は実践女子学園中・高等学校をご卒業の方なら、どなたでも入会可能です。年会費は1,000円。皆様のご参加をお待ちしております。

●連絡先：TEL＆FAX　03-6761-2520
（科会長　古藤 黎子）

実践被服科会

平成29年度の総会は、初めて生活環境学科のご協力を頂き日野キャンパスで開催致しました。沢山の方々にお集まり頂き、大変充実した会となりました。新たに20余名の方々を会員としてお迎え致しました。今年は「被服科会の名称を考える」件について結論を出したいと考えています。卒業学科改組により見えにくくなった卒業生のたての繋がりを明らかにし、繋がって頂く努力をして参ります。今年度事業は以下の通りです。ご参加をよろしくお願い致します。

■第27回総会と懇親会
　日時：平成30年4月29日（日）
　場所：日比谷　松本楼＊
　　総会　　12：00～12：45
　　懇親会　　13：00～
　＊明治36年日比谷公園開園と同時にオープンした老舗洋食レストラン
■鑑賞会〈プリンスアイスワールド2018inYOKOHAMA〉
　日時：平成30年5月3日（木・祝日）
　場所：KOSE新横浜スケートセンター
　出演者：プリンスアイスワールドチーム
　　本田武史　小塚崇彦　町田樹　他
■講習会〈ビーズのネックレス製作〉
　日時：平成30年9月1日（土）
　場所：実践桜会会館
■講演会と見学会〈講演会と武相荘見学〉
　日時：平成30年11月20日（火）
　昼食：霜月亭（遊膳料理）小田急線鶴川駅
　講演会：昼食後、霜月亭にて
　講師：井上一雄先生（実践女子学園中・高元教諭）
　テーマ：仮題　〈渋谷・実践・常磐松〉見学：武相荘　旧白洲次郎・正子邸
■会誌発行
　「歌ごろもニュース№22」6月上旬
　「歌ごろも第27号」　12月上旬
　詳細についてはホームページをご覧ください。被服科会会員以外のご参加も歓迎致します。
●連絡先：TEL＆FAX　03-3721-9378
（科会長　松岡 久美子）

実践家政科会

平成30年を迎え家政科会は新しい気持ちで下記行事を予定しています。

生涯勉強と思い社会と共に進歩していきたいと考えます。

平成30年度行事予定

■1月24日（水）：新年会（愉しい福引きも致します。）
　於・ハイアットリージェンシー東京
■5月20日「家政科会だより46号」発行
■5月27日（日）：家政科会総会
　10:30　井原理事長先生に学園のこれからをお聴きして、桜会のこれからも鈴掛理事長にもお聴きします。
　11:30　クラシックコンサート
　昼食
　於・ホテルニューオータニ
■6月17日（日）：観劇会
　三越劇場昼の部「黒蜥蜴」
　主演・喜多村緑郎、河合雪之丞
■8月26日（日）：料理講習会（中国料理）
■9月26日（水）：福祉施設作業用エプロン縫製　於・桜会館
■10月11日（木）：バス見学旅行
　鎌倉ハム富岡商会（鎌倉）
　昼食　久右衛門邸（東戸塚）
　神奈川県立フラワーセンター大船植物園（大船）
■12月　歳末助け合い募金寄付、古切手郵送支援
■平成31年1月23日（水）：新年会
　於・ハイアットリージェンシー東京
●連絡先：TEL＆FAX　045-571-0213
（科会長　熊切 冨子）

実践国文科会

催事には会員に限らずご参加できます。ご希望の方は国文科会へご連絡ください。

久しぶりに文学散歩（1泊2日）を企画いたしました。

■総会4月21日（土）13:00 ～
　於：実践桜会会館
■記念講演会（総会後）14:30～
　講演予定 実践女子大学国文学科 山内博之教授
■寄り道文学散歩　6月7日　東京近郊
■会誌「りんどう」発送9月9日
■一葉祭　11月23日（金）
　於：東京都台東区立「一葉記念館」
■文学散歩「万葉をはぐくんだ風土」
　をたずねる旅　11月予定（1泊2日）
　富山県高岡万葉歴史館・金沢市内散策
■新年会　平成31年1月27日（日）
■能・狂言鑑賞会　国立能楽堂
※なお、詳細については「りんどう」又はホームページに掲載
●連絡先：実践桜会　実践国文科会
（科会長　若松 幸子）

実践英文科会

平成29年度のバス見学会、新年会も昨年同様に新しい方を迎えて実施することができました。

平成30年度の活動は下記の通りです。皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

■総会：6月3日（日）11：00～12：00
■講演会：6月3日（総会後）13：00～15：00
　講師：木村朗子先生　津田塾大学教授
　テーマ：「東日本大震災について文学が考えたこと」
　会場：桜会会館　1Fホール
■「英文科会だより」2018
　9月下旬発行予定
■見学会：10月下旬～11月上旬
■常設勉強会：於　実践桜会会館
　輪読会A：第2・4金曜日　10：30～12：30
　輪読会B：第1・3金曜日　10：30～12：30
●連絡先：TEL＆FAX　045-862-3744
（科会長　山内 典子）

実践生活文化科会

昨年度は常磐祭にて、ホームカミングデー（卒業生トークなど）を学科と共催させていただきました。今年度も卒業生の交流などの企画を考えております。詳細はメールやFacebookでご案内いたします。科会からのご案内がない場合には、ぜひ以下にご連絡をいただけたら幸いです。まだまだご連絡先不明の同窓生の皆様が多数いらっしゃいます。一人でも多くの同窓生の皆様に、イベントやお知らせをいたしたく存じますので、ご友人同士お声がけいただき、ご協力をお願い申し上げます。

●連絡先：jj.seibun.og@gmail.com
　Facebook：https://m.facebook.com/profile.php?id=100009369324879
（科会長　北村 はるか）

〈お知らせ〉

実践技芸科会は平成29年度をもちまして、科会活動を終了いたしました。

実践キャリアネット

実践キャリアネットは「仕事」「働く」をキーワードとした同窓生のネットワークです。世代・学部を超えた仲間との異業種交流、キャリアアップの為のセミナー開催、在校生支援、卒業生就職・転職相談などの活動を行っています。卒業生であればどなたでも入会できます。セミナー、講演会は「仕事」経験の有る方は勿論、無い方でも大歓迎です。入会をお待ちしております。

【2017年度の活動レポート】

総会・講演会

平成29年6月17日（土）桜会会館ホール

総会後の講演会は卒業生で現在KDDI株式会社 人事部D&I推進室室長の間瀬英世氏に「企業におけるダイバーシティ～女性活躍推進の課題と現状～」と題しお話いただきました。

昼食後はときわ会との共催で卒業生の渡辺美佐子氏の「朗読会」が開催されました。午前・午後共、実りの多い一日でした。

秋の会員交流会

平成29年11月18日（土）渋谷東急百貨店本店8階「タントタント」

実践キャリアネット発起人であり元実践桜会理事長の若松幸子氏にキャリアネット設立時のお話を伺いました。美味しいイタリアンと懐かしいお話で楽しいひと時を過ごしました。

第1回セミナー開催

平成30年1月20日（土）桜会会館ホール

卒業生でStillaアロマテラピースクール アンド サロンを主催する富田ゆか氏に「幸せ肌へGO! ストレス・老化に負けない"抗酸化コスメ"作り」と題しアロマの解説をしていただいた後、参加者にアロマオイルを作成していただきました。その後会場を変えて2018年新年会を催しました。

【2018年度の活動予定】

■平成30年6月16日（土）
　総会・講演会
■平成30年9月15日（土）
　秋の会員交流会
■平成30年11月17日（土）
　第1回セミナー
■平成31年1月19日（土）
　第2回セミナー ＆ 新年会
■平成31年2月
　卒業生と在校生との交流会
　～OG懇談会～（渋谷＆日野）
■「卒業生のための仕事についての何でも相談会」は随時受付いたします。詳しくはホームページをご覧下さい。
■毎月第3土曜日
　キャリアネット運営委員会

【入会方法】

入会申込はいつでも受け付けております。

桜会事務局（月～土 9：30～17：00　日曜・祝日を除く）

TEL：03-3407-7459　FAX：03-3499-0835

※HPからも申込ができます。
　http://www.j-sakura.org

年会費：2,000円（入会金は不要）

振込先：みずほ銀行 渋谷中央支店
　普通 1748354

会費納入のお願い　（年会費2,000円）

一般社団法人教育文化振興実践桜会の運営・活動は皆様の会費によって支えられています。会費未納のかたは振込用紙にてお近くのコンビニ、ゆうちょ銀行および実践桜会本部窓口でご納入願います。また、右記の銀行口座を使い、銀行振り込みもご利用ください。

みずほ銀行渋谷中央支店（１６２）
口座番号普通１１８９７９５
一般社団法人教育文化振興実践桜会

なお、振込用紙がない場合は、実践桜会会館までご連絡ください。
TEL：03-3407-7459　　FAX：03-3499-0835
＊いずれの場合も会員番号、卒年学科のご記入をお願い致します。

実践桜会会館利用サークルのご案内

サークル名	活動曜日	主な内容
編み物の会	第3金曜日	工芸・編み物
実践桜会囲碁教室	第2・4月曜日	囲碁
英文輪読会A	第2・4金曜日	英文学
英文輪読会B	第1・3金曜日	英文学
実践絵手紙の会	第3日曜日	絵手紙
かえで（楓）会	第2火曜日	染色
桂泉会	月2回土曜日	華道古流
香友会	不定期	香道
桜書道教室	第1・3土曜日	芸術・書道
下田歌子先生の著作を読む会	第3日曜日	研究会：下田先生を広く知る

サークル名	活動曜日	主な内容
童の会	不定期	文学・児童の研究と創作
ハーダンガーの会	第2木曜日	工芸・ハーダンガー刺繍
北欧刺繍に親しむ	第3日曜日	北欧刺繍
マンドリンクラブOG会	不定期	音楽・マンドリン
実香会	第3土曜日	香道
萌黄会	第1・3木曜日	日本刺繍
日本ギャスケル協会	第1又は第3日曜日（不定期）	ギャスケルの研究
北欧クロスステッチ	不定期	北欧刺繍
青脈会	不定期	山岳部OB会
ハワイアンスクール	第1・3火曜日	健康フラとウクレレ

2018年3月現在／お問合わせは会館事務局へ

本部だより

学祖祭

平成29年度は、学祖下田歌子先生ご命日の10月8日が日曜日の為、10月7日(土)に実施しました。例年通り実践桜会理事長はじめ学園関係者が揃って護国寺に墓参しました。渋谷に戻り、中高桃天館香雪記念室の祭壇(神式)に参拝。その後、実践桜会会館の祭壇(仏式)に参拝をした際には直筆の短冊や著作の原本展示物にて、日本の女子教育の先駆者である下田歌子先生の遺徳を偲びました。

戸野原様を偲ぶ会

昭和11年実践女子専門学校技芸科を卒業後、終戦前に母校でも教鞭をとり、昭和55年からは実践桜会第8代理事長として同窓会にご尽力された戸野原須賀子様が、平成29年4月29日に101歳にて逝去されました。敬愛する下田歌子先生から直接教えを受け、折に触れその精神と志を後進に伝えてきた戸野原様をお偲びしたいという卒業生の声が多数寄せられ、実践桜会では平成29年9月7日に「戸野原須賀子様を偲ぶ会」を開催いたしました。

戸野原様のご親戚・関係者、学園理事長・学長をはじめ、戦前の卒業生含む49名が集い、懐かしい写真や想い出に触れ語り合う、穏やかなお見送りの会となりました。

なお、戸野原様から実践桜会に5千万円が遺贈されました。

祝・成人の会

平成29年度に20歳を迎える実践女子学園高等学校卒業生（平成28年3月卒業）の「祝・成人の会」が、平成30年1月8日(月・祝)に実践女子学園桃天館にて開催されました。企業5社から協賛をいただき、晴れの日に219名の新成人が集いました。

第1部は桜講堂で式典が行われ、高橋基之校長、桜会理事長、学園理事長の挨拶、懐かしのDVD放映があり、久しぶりの校歌斉唱後全員で記念撮影を行いました。第2部はカフェテリアに場所を移して懇親会です。桜会ときわ会会長挨拶に続き、嶋野恵子前校長の乾杯ご発声で和やかに会食を開始しました。最後に、新成人代表が成人の会に対する謝意とこれからの抱負を述べました。

新成人になった喜びと母校で懐かしい顔に再会できた嬉しさとで、会場は華やかな笑顔と熱気に満ちていました。

母校教育助成事業

平成29年度定時総会（5月21日）に、実践桜会より学園助成金を井原理事長に贈呈いたしました。

大学「常磐祭」10月15日（渋谷キャンパス）、11月12日（日野キャンパス）において、実行委員会に協賛金贈呈及び桜会賞（研究部門・芸術部門）を授与しました。

実践桜会奨学金事業

学園高校生1名に給付しました。公募により実践女子大学大学院生2名に給付いたしました。大学院生2名は10月の桜会バザーに手伝いとして参加しました。

実践桜会国際交流基金事業

留学生4名（中国2名・モンゴル1名・トルコ1名）に奨学金を給付しました。9月と3月に実践桜会との交流会を開催しました。3月には晴れ着を着て日本文化を体験してもらいました。

社会活動助成事業

会員以外の参加者も視野に入れた諸活動を行った5科会、11支部、学園関連1団体、計17団体に社会活動助成金として上限5万円を助成いたしました。

法律相談

月1回、第2水曜日（11時～16時）に行っています。秋田瑞枝弁護士が相談を担当します。事前に電話で予約してください。秘密厳守をお約束します。詳細は実践桜会会館にお問い合わせください。

実践桜会バス旅行

「栃木県足利への旅～学祖下田歌子先生の足跡をたずねて」

平成29年7月12日（水）に史跡足利学校、あしかがフラワーパーク、栗田美術館を巡るバス旅行に50名で参りました。栃木支部の皆様と下田先生の訪れた足利学校で合流、その後、老舗料亭蓮岱館にてお昼をいただきながら交流いたしました。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

実践桜会バザー開催

平成29年10月28日（土）29日（日）実践女子学園中高ときわ祭（於中高記念館ロビー）にて、実践桜会バザーを開催いたしました。会員の皆様、各科会、全国各支部から、特産品、手作り品、雑貨等多数ご寄贈頂きました。皆様のご支援ご協力に厚く御礼申し上げます。

●バザー寄贈品ご提供のお願い

平成30年度実践桜会バザー

開催日：平成30年10月27日（土）28日（日）

＊寄贈品のご提供のお願い。（受付期間4月～10月19日）

（衣類は新品同様に限らせて頂きます。）

＊バザー当日のお手伝いを募集します。（受付期間　4月～9月末）

お問合せは、実践桜会事務局迄

初春歌舞伎観劇会

平成30年1月14日（日）国立劇場大劇場にて、「通し狂言-世界花小栗判官」(尾上菊五郎監修）を348名の皆様と共に観劇いたしました。今年も多数のご参加を頂き、誠にありがとうございました。

実践桜会バザー

季節外れの台風22号が接近中の10月28・29日両日、実践女子学園学園祭に於いて「実践桜会バザー」が開催されました。今回は会場が記念館ロビーへ替り、前回とはまた雰囲気の違う会場設営となりました。皆様からの様々な寄贈品（衣類・タオル・バック・靴・食器・雑貨・手芸用品等）をはじめとして、遠くは英国支部、全国各地の支部の皆様より各地の特産品や手作り品をお送り頂きました。科会からは手作りアクセサリーや生活用品などをご提供頂きました。更に、学祖下田歌子先生の故郷岩村の銘菓「歌子の里」や特産品、人形町の問屋三勝（婦人衣料）、ハロウィンのお菓子詰合せ、各種食料品に美味しいお弁当と楽しさ満載の会場となりました。また、昨年に続いて東日本大震災復興支援を行っている松戸ネットと国連ウィメン（売上の一部を国連へ拠出金として寄付）のご参加もありました。2日間共に学園祭に訪れたご父兄や生徒達で賑わいました。今回は実践女子大学・同短期大学部の【東日本大震災岩手県宮古市支援プロジェクト】の学生の方々がお手伝いに加わって下さり、何時にも増して明るい売り声が響き、一段と活気がみなぎりました。

尚、各支部・科会並びに会員の皆様から賜りました売上収益金は実践桜会の運営に有効に活用させていただきます。今回は、実践女子大学・同短期大学部【東日本大震災岩手県宮古市支援プロジェクト】の活動に助成いたしました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

本年度も実践桜会バザーが秋に行われます。ご寄贈頂ける品がございましたらお寄せくださいますようお願い申し上げます。詳細は実践桜会事務局にお問合せ下さい。

支部名	寄贈品
札幌支部	六花亭のお菓子数種
函館支部	トラピストクッキー他函館名産
岩手支部	盛岡冷麺
宮城県支部	ワイン
秋田支部	稲庭うどん他秋田名産品
福島県支部	寄付金
茨城支部	安納芋焼き芋
栃木支部	干瓢
群馬県支部	たまり漬け他
埼玉支部	ねぎ味噌他草加煎餅
千葉支部	ピーナッツサブレ
神奈川支部	梅干し・いわし削り・野菜チップス他
山梨支部	ラベンダーポプリ
長野支部	ジャム3種（サンクゼール）
富山支部	里芋

支部名	寄贈品
福井支部	花らっきょう
静岡支部	銀杏・お茶他各種
関西支部	都酢味噌
鳥取支部	クッション・柿
島根支部	反物・タオル他
山口支部	ふく雑炊・うに醤油他
愛媛支部	みかん・タオル類
高知支部	くんじょうくん鍋焼きラーメン
福岡支部	めんべい
佐賀支部	陶器類
熊本支部	くまもんふりかけ
大分支部	かぼす
鹿児島支部	安納芋・生姜飴
沖縄支部	陶器
英国支部	ブランケット・エコバック（英国製）他

初春歌舞伎観劇会

今年も実践桜会の歌舞伎観劇会が1月14（日）に国立劇場にて行われました。演目は「通し狂言　世界花小栗判官」。初春らしい飾りつけの大劇場は、着物姿の装いも華やかに賑わいのある明るい雰囲気に包まれておりました。尾上菊五郎・菊之助親子、尾上松緑、中村時蔵といった看板役者による通し狂言は、主従の恩義、親子の情、男女の愛憎、正義と悪の闘ぎあいと盛り沢山の大スペクタクル。見事に決まる大立回り、人馬一体の動きの見事さ、軽妙なセリフの遣り取りと歌舞伎の面白さを堪能しました。更に国立劇場の舞台装置のダイナミックさと相まって、見応えのある舞台となりました。それに加えて、初春恒例の花形役者による手拭撒きもあり客席は一層盛り上がりました。もう一つの芝居見物の楽しみは、十八番でのお食事です。劇場からの実践桜会への“おもてなし”として、雪国山形の満開の「啓翁桜」が活けられた入り口を通り、目にも嬉しいお弁当をお喋りと共に味わいました。表の寒さを暫し忘れて、日本の伝統演劇に触れる心弾む一時となりました。

毎年恒例の歌舞伎観劇会、ご家族やご友人と是非ご参加ください。同窓の思いもかけない再会があるかもしれません。

告知板

♥結婚相談室♥

相 談 日 ：原則として毎月第2、第4土曜日・10：30～16：00
（10月第2土曜日は相談日が変更になる場合があります。）
休　　室：8月第2土曜日、12月第4土曜日
会　　場：実践桜会会館
入会資格：本校卒業生及び卒業生のご紹介の心身共に健康な男女
入 会 金 ：2万円、書類代：1千円
入会時に持参するもの：入会ご希望の本人直筆の履歴書写真5枚（本人のみ、スナップ可）
☆秘密厳守で評判の良い相談室です。
☆詳細は相談日にお問い合わせください。
連 絡 先 ：TEL 03-3407-7459（実践桜会会館）

実践桜会会館・貸室のご案内

明るい新会館をクラス会、サークル活動、各種打ち合わせ等にお気軽にご利用ください。

詳細は実践桜会事務局（TEL 03-3407-7459）へお問い合わせください。

実践桜会囲碁教室

昨年10月、実践女子大学第4回渋谷キャンパス常磐祭で、実践桜会の囲碁教室を開くことができました。卒業生の川村麻紗子さん、大学の学生支援センター、実践桜会の理事、囲碁教室の方々の協力のお蔭です。全く初めての方も参加してくださり盛況でした。卒業生の皆様も囲碁を始めませんか。

（Y.K）

［開室］原則として、第2・第4月曜日 13：00～16：00
［教室の開室予定日4～9月］　赤字は自由対局

4月	9	16	23
5月	14	28	
6月	11	18	25
7月	9	23	
8月	6	20	27
9月	10	24	

渋谷キャンパス常磐祭にて

［会費］一回1,000円（自由対局 500円）
［講師］柳川正興（アマ6段）
自由対局　10：30～16：00
卒業生の川村麻紗子さん（アマ５段）の指導があります。
［連絡先］実践桜会事務　TEL 03-3407-7459

表紙　宮中拝領品のボンボニエールについて

ボンボニエールとはフランス語のbonbonnièreに由来する。飴入れ、キャンディーボックスのことであり、かわいらしい、小さい、奇麗なイメージを持つ言葉である。日本では、明治中期以後、宮中の慶事などに開かれた晩餐会で金平糖などを小型の容れ物とともに配る慣例ができ、工夫をこらしたものが作られてきた。

実践女子学園所蔵のボンボニエールは、下田先生が数々の皇室の祝賀に招かれた折に持ち帰ったものであり、教育係を務めた明治天皇の内親王、常宮、周宮、そしてそれぞれが嫁いだ竹田宮、北白川宮に関わるものが多い。

～「麗しの小箱　ボンボニエール」解説文から～

［編集後記］

昨年の11月からスタートした「那与竹81号」の編集は、読んで下さる皆様に実践桜会の活動や卒業生のご活躍、全国各地の支部の皆様の活動をお伝えする事を第一に考えて進めて参りました。

その間の5か月、ビルの林立する渋谷にあっても季節は移ろいます。ハロウィーンの飾りつけに浮き立っていた街が、あっという間にクリスマスのツリーとイルミネーションの世界に変わり、吹き抜けるビル風も冬の冷たさを運び込みました。新年と共に成人式の華やぎが広がる一方で今年は荒天の連続で雪に弱い東京に限らず、連日各地の雪の被害が報じられました。

私達は広報部活動の中で、直接に日々の生活を大切に過ごされている卒業生の皆様と学園・大学の在学生のエネルギーを感じる機会を多く得ました。また、会報誌を楽しみにしていると言う励ましも頂きました。このような経験から、より一層幅広い同窓の繋がりを本誌に反映させたいとの思いが膨らみました。

私たちのこの思いが本誌を通して皆様の許に少しでもお届け出来ればと願っております。

毎号、支部・科会・本部の皆様や学園の方々には多大なご協力を頂いております。また、印刷会社ローヤル企画の担当者（児玉様）には編集未経験者の我々の水先案内人として大変お世話になりました。

皆様に心からの感謝と共に御礼を申し上げます。（広報部一同）

【寄附者ご芳名】（敬称略）
鈴掛まゆみ、ロジュデイス敬子、鍛島康子、篠田俊子、若松幸子、故 戸野原須賀子、西向みち子　他　匿名1名
＊ご寄附は随時受け付けております。

【お願い】
転居・改姓等をされた方および会費のコンビニ入金をされる方で住所変更もある場合は、会員番号、卒年学科をご確認の上、実践桜会事務局（TEL：03-3407-7459、FAX：03-3499-0835）までご連絡ください。

編集・発行：一般社団法人教育文化振興 実践桜会
編集・発行人：鈴掛まゆみ
〒150-0011東京都渋谷区東1-1-40
TEL：03-3407-7459　FAX：03-3499-0835
URL：http://www.j-sakura.org
広報部メールアドレス:jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp
振込口座：東京00190-0-2384
印刷：株式会社ローヤル企画

実践桜会は皆さまの会費で運営されています。 年会費 2,000 円の納入をよろしくお願いします。

同封の振込用紙でご納入ください。お近くのコンビニまたはゆうちょ銀行か郵便局（窓口、ATM）をご利用下さい。実践桜会事務局でも受け付けております。

【表紙の色】日本の伝統色より「白群色」

2018 一般社団法人教育文化振興 実践桜会 無断転載禁止 Printed in Japan